

# ASEAN+3マクロ経済リサーチ・オフィス (AMRO: ASEAN+3 Macroeconomic Research Office)



## 概要

- ASEAN+3地域経済の監視(サーベイランス)・分析を行うとともに、チェンマイ・イニシアティブ(CMIM)の実施を支援する国際機関。2011年4月にシンガポール法人として設立され、2016年2月に国際機関化。
- 所長は、土井 俊範(どい・としのり)氏(任期三年間:2019年5月~2022年5月)

## AMROの役割

- ASEAN+3 域内経済のリスクを早期に発見し、改善措置の速やかな実施に関する提言を行い、CMIMの効果的な意思決定に貢献し、その発動プロセスを支援することを目的とする。

## 直近の動向

### ① サーベイランス能力強化

ASEAN+3地域経済を分析した「ASEAN+3 Regional Economic Outlook」を公表

### ② CMIM支援

CMIM契約書の定期的な見直し作業を補助

### ③ IMFやADB等の国際金融機関との連携強化

ADBとの間で、能力強化に関するMOUを締結。また、IMFとの間で連携強化に関するMOUを締結。